

「第6回製剤機械技術研究会仲井賞」 受賞者の選考結果について

The 2006 Nakai Award of The Japan Society of Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員長 松田 芳久

Yoshihisa MATSUDA

The Chair of The Selection Committee of The Nakai Award

本研究会では創立10周年を機に、平成13年から標記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した会員個人又はグループの功績を顕揚しております。今回は昨年11月11日を締切日として会報で受賞候補者を募集いたしましたところ、1名の候補者につき2件のご推薦がありました。この候補者につきまして、選考委員会へ提出された推薦書及び関係資料を慎重かつ厳正に審査しました結果、下記のように受賞者として長谷川 浩司氏を決定し、同12月26日に会長に報告いたしました。この結果は本年4月25日に開催された平成18年度総会においても承認されましたが、授賞式は別に今秋10月13日に開催される第16回大会において行われ、併せて受賞講演をしていただくこととなっております。

なお、募集にあたっては推薦書の形式をこれまでより簡略化し、お気軽に推薦していただけるよう、全面的に改めております。会員の皆様には、お近くのお知り合いで本賞の受賞に相応しい業績をあげておられる方がおられましたら、本研究会の活動を一層活発にするために、ぜひ積極にご推薦いただきますようお願いいたします。なお、詳細につきましては会報をご覧ください。又は事務局へお問い合わせ下さい。

記

- ・受賞者：長谷川浩司氏（㈱パウレック 技術本部 粉体工学研究所）
- ・受賞テーマ：全自動錠剤コーティング装置「パウレックコーター」の開発
- ・受賞理由：当該候補者らが開発したコーティング装置は、これまでに開発・使用されてきた種々の装置における生成物の均質性及び再現性等の問題点を集約し、これらを解決するための機構を有したものといえる。すなわち、基本的には公知の技術の長所を巧みに組み合わせ、機構上、従来のオニオンパンの形状と通気式コーティング装置の優れた機能を融合させた点が却って新規性を高めている。また、コーティングパンへの加温・冷却機能を付加することにより、生成物の品質確保等の総合的な機能も改善している。このため、装置に対する信頼性が高く、設計がシンプルであるため洗浄性に優れ、更に高度の熟練作業を必要としない等、高品質の製剤を製造する時代の要請に対応し得る装置である。

以上のように、当該技術開発は、コーティングという重要な製剤加工技術を進歩させる製剤機械を開発した点において、「仲井賞」授賞に値するものである。